【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【公開番号】特開2000-61793(P2000-61793A)
【公開日】平成12年2月29日(2000.2.29)
【出願番号】特願平10-237680
【国際特許分類第７版】
　Ｂ２４Ｂ　13/015
【ＦＩ】
　Ｂ２４Ｂ　13/015

【手続補正書】
【提出日】平成17年2月3日(2005.2.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　ブラウン管用ガラスファンネルを回転させながら、該ファンネルのシールエッジ面を複数枚のホイール状研削砥石で研削する装置において、前記ファンネルのヨーク部内側を吸着することにより、ファンネルを取付け台に固定するようになっており、かつ該取付け台が自在継手を介してベースプレートに取り付けられていることを特徴とするブラウン管用ガラスファンネル研削装置。
【請求項２】
　取付け台を前記自在継手を中心とした任意の方向に傾けるための押圧機構が、前記ベースプレートと取付け台との間に設けられており、ファンネルのネック中心軸を任意の方向に調整できる請求項１に記載のブラウン管用ガラスファンネル研削装置。
【請求項３】
　ブラウン管用ガラスファンネルを回転させながら、該ファンネルのシールエッジ面を複数枚のホイール状研削砥石で研削する装置であって、ベースプレートに自在継手を介して装着されており、ファンネルのヨーク部内側を吸着支持し回転を伝えるためのボディ内面テーブルを装備している取付け台と、該取付け台に直立しているネックシャフトの先端に設けたネックチャックと、前記取付け台に固定されたファンネルのヨーク部外側を押圧するためのヨーク押さえと、取付け台の下面側に作用して取付け台を動作させることができるように前記ベースプレートと取付け台との間に配置された押圧機構とを具備し、ファンネルのヨーク部内側を前記ネックチャックとボディ内面テーブルで遮蔽して真空にすることにより、ファンネルを取付け台に固定するようになっており、かつ該取付け台が前記押圧機構により上下方向にスライドするとともに、前記自在継手を中心に傾斜して、研削時のファンネルを所望の姿勢に保持できるように構成したことを特徴とするブラウン管用ガラスファンネル研削装置。
【請求項４】
　前記押圧機構が、ベースプレート上に配置され且つ自在継手の周辺に等間隔で配置された複数のエアシリンダからなる請求項２または３に記載のブラウン管用ガラスファンネル研削装置。